

あまくさ
市議会だより

結

— ゆ い —

— 新たな決意を胸に未来へ —

1月3目と4目に各地区の会場において「二十歳のつどい」が開催されました。

参加者は華やかな振り袖や真新しいスーツに身を包み、同級生との久しぶりの再会を喜び合っていました。

(写真は本渡地区)



TOPIC
2

【議第96号】天草市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について

中堅所得者の市営住宅への入居を一部可能にし、子育て世帯等の入居条件を緩和

建設経済委員会付託

長期間空き住戸となっている市営住宅について、適正かつ合理的な管理に支障がない範囲で中堅所得者の入居を可能とする「みなし特定公共賃貸住宅制度」を創設します。また、国の「こども未来戦略」による子育て世帯等に対する住宅支援策を踏まえ、市営住宅に入居できる子育て世帯の対象範囲の拡充と裁量世帯^(※)の入居収入基準額を引き上げます。

- 改正内容
- みなし特定公共賃貸住宅制度の入居収入基準額
- 新設 月額158,000円から487,000円
- 市営住宅入居条件の緩和

区 分	入居収入基準額
裁量世帯	月額 214,000円

区 分	対象範囲
子育て世帯	小学校就学の始期に達するまでの者がある場合

改正後

入居収入基準額
月額 259,000円

対象範囲
18歳に達する日以後の最初の3月31日までの間にある者がある場合

(※)裁量世帯…公営住宅への入居収入基準の緩和が認められている世帯。特に居住の安定を図る必要があると考えられる障がい者や60歳以上の高齢者、子どもがいる世帯等

TOPIC
3

【議第98号】天草市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について

大学等進学のための奨学金貸与額を拡充

教育厚生委員会付託

近年の社会情勢を踏まえ、奨学金の貸与額や償還期間等を改正します。

- 改正内容
- 給付型奨学金との併給を可能にする
- 月額貸与額5万円の場合の返済期間を延長

貸与月額	償還期間
5万円	貸与期間の4倍（最長20年）

- 貸与額の拡充

区 分	貸与月額
大学等	3万円
専修学校（専門過程）、 本渡看護専門学校	2万円

改正後

区 分	貸与月額
大学等、専修学校 （専門過程、本渡看護 専門学校含む）	3万円 または 5万円

問 直近の新規貸与者が、1～3人で推移している理由は。

答 生徒数の減少や、国や他団体の奨学金制度の充実によるものとする。他団体の奨学金を要件により受けることができなかった場合など、本市の奨学金がさらに利用しやすくなるよう見直した。

Topics

こんなことを話し合い
決めました

令和6年
第5回定例会

令和6年第5回定例会を11月26日(火)から12月13日(金)までの18日間の会期で行いました。

条例の改正や補正予算などの議案が提出され、審査・審議の結果、すべて原案どおり承認・可決・同意しました。
今号では、議案の中から5件を紹介します。

今回の議案等は48件

※議案等一覧は7ページに掲載

- 報告…………… 2件
- 承認…………… 2件
- 条例…………… 10件
- その他の議決事項…………… 7件
- 予算…………… 20件
- 人事…………… 7件



TOPIC
1

【議第93号】天草市体育館条例及び天草市運動広場条例の一部を改正する条例の制定について

下津浦体育館・御所浦南グラウンド夜間照明施設・河浦総合運動場相撲場を廃止

総務政策委員会付託

天草市公共施設等総合管理計画並びに公共施設等再配置・個別施設計画に基づき、利用頻度が低い施設及び老朽化が著しい施設の廃止について、地元住民等の同意が得られたため、条例を改正します。なお、御所浦南グラウンドは、隣接する御所浦交流センターのグラウンドとして位置づけるため、施設の管理を生涯学習課へ移管します。



▲下津浦体育館（有明町）の現地調査

問 下津浦体育館の廃止後は、解体し駐車場に整備するとあるが、隣接のグラウンドでは野球やサッカーの利用が多い。ネットを設置する考えは。

答 ネットの設置を検討していきたい。

問 御所浦南グラウンド照明施設の解体工事は、いつ頃行う予定か。

答 令和7年1月頃から工事に着工したい。

問 河浦総合運動場相撲場には著しい老朽化は見られないが、今後の利活用はどう考えるか。

答 天草市公共施設等総合管理計画等に基づき、社会体育施設の統廃合を進めている。今後もグラウンドと一体的な管理をし、相撲場跡の利活用についても検討していきたい。

補正予算審査

【一般会計補正予算】
20億7,110万8千円を追加し
総額587億1,297万3千円に



令和6年第5回定例会には、予算関連議案として、一般会計5件（うち専決処分2件含む）、特別・企業会計17件の補正予算が提出され、すべて原案どおり承認、可決しました。

ここでは、一般会計補正予算の主な内容や予算決算委員会での質疑の内容を紹介します。

1 令和6年度天草市一般会計補正予算（第8号） 牛深総合体育館・有明体育館・天草市民センター総合武道館に 空調設備を整備

近年の猛暑による熱中症のリスクが高まる中、施設利用者の健康と安全を確保することと合わせ、災害時の指定避難場所としての快適な環境づくりを目的として、空調設備の整備を行うため、補正を行う。

スポーツ施設整備事業 1億9,641万2千円

問 牛深総合体育館と有明体育館を整備する理由は。

答 利用頻度の高い施設を優先した。

問 そのほかの体育館の整備計画は。

答 各地域の拠点8施設の整備を予定している。倉岳体育館、五和体育館、新和体育館、河浦中央体育館、栖本体育館、天草勤労者体育館も令和7年度から順次設計を行う予定である。

問 空調システムの選定方法は。

答 施設の規模や利用状況等に整備費用・ランニングコスト・操作性・災害時の使用等を比較して決定している。



▲牛深総合体育館大アリーナ

市民会館整備事業 5,217万7千円

問 空調は全館に設置するのか。

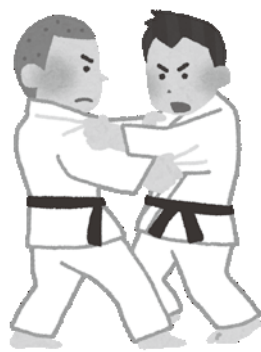
答 柔道場、柔道場観覧席、剣道場、剣道場観覧席、トレーニング室に設置予定である。

問 空調システムの方式は何か。

答 ガスヒートポンプ空調方式の採用を考えている。

問 地元業者による施工は可能か。

答 地元業者でも施工は可能である。



▲天草市民センター総合武道館剣道場

TOPIC 4

【議第118号】天草市議会議員に対する議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について

議員報酬・市特別職の給料並びに期末手当を改定

総務政策委員会付託

天草市誕生以降18年間、見直しがなかった報酬等について、天草市特別職報酬等審議会^(※)の答申等を踏まえ、議員報酬、市長、副市長など特別職の給料並びに期末手当について改正を行います。

■報酬及び給料の改正内容

役 職	改定前	改定後	引上げ額
議 長	407,000円	411,000円	4,000円
副 議 長	366,000円	370,000円	4,000円
議 員	348,000円	352,000円	4,000円
市 長	870,000円	880,000円	10,000円
副 市 長	665,000円	672,000円	7,000円
教 育 長	605,000円	612,000円	7,000円
病院事業管理者	665,000円	672,000円	7,000円

期末手当は年間支給月数を0.05月分引き上げる。

(※)天草市特別職報酬等審議会…市長の諮問に応じ、議員報酬や市長等の給料等の額について審議するために設置される審議会。



TOPIC 5

【議第129～135号】人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて

人権擁護委員の人事案件7件に同意

任期満了に伴う人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求める議案7件が提出され、すべて原案どおり同意しました。

人権擁護委員

人権擁護委員法に基づいて、人権相談を受けたり、人権の考えを広めたりする活動を行います。

天草市には27人の委員が委嘱されており、法務局と連携し、地域のみなさんの相談解決に向けた支援、人権侵害の被害者救済、街頭での啓発活動のほか、保育園や小・中学校を訪問し、人権教室を実施しています。

毎年度、小学校1校を選定し実施する「人権の花運動」は、種まきや毎日の水やりなど花を育てるを通して、「命の大切さ」「思いやりの心」を育むことを目的に活動しています。



▲人権の花運動できれいな花を咲かせました

令和6年第5回天草市議会（定例会）議案等

議案番号	件名	付託先	議決の結果
報告第9号	専決処分事項の報告について（市内において発生した事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて専決処分したので、議会に報告するもの）	—	—
報告第10号	専決処分事項の報告について（市内において発生した事故に係る和解及び損害賠償の額を定めることについて専決処分したので、議会に報告するもの）	—	—
議第90号	専決処分事項の承認について（令和6年度天草市一般会計補正予算第5号）（衆議院議員総選挙及び梅雨前線豪雨により被災した公共土木施設の災害復旧に係る経費として専決処分したため、議会の承認を求めるもの）	付託省略	承認
議第91号	専決処分事項の承認について（令和6年度天草市一般会計補正予算第6号）（梅雨前線豪雨により被災した農業施設等の災害復旧に係る経費として専決処分したため、議会の承認を求めるもの）	付託省略	承認
議第92号	天草市地区コミュニティセンター条例の一部を改正する条例の制定について（一部の出張所の廃止等に伴う使用料の見直し及び施設の利用促進を目的として営利利用の制限を撤廃するため、条例を改正するもの）	総務政策	原案可決
議第93号	天草市体育館条例及び天草市運動広場条例の一部を改正する条例の制定について（下津浦体育館・御所浦南グラウンド夜間照明施設・河浦総合運動場相撲場の廃止及び御所浦南グラウンドの所管替えをするため、条例を改正するもの）	総務政策	原案可決
議第94号	天草市家庭的保育事業等の設備及び運営の基準に関する条例の一部を改正する条例の制定について（国の基準の一部改正を踏まえ、保育士等の配置基準を見直すため、条例を改正するもの）	教育厚生	原案可決
議第95号	天草市地域包括支援センターの職員等に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について（介護保険法施行規則等の一部改正を踏まえ、地域包括支援センターの職員配置基準等を見直すため、条例を改正するもの）	教育厚生	原案可決
議第96号	天草市営住宅条例の一部を改正する条例の制定について（みなし特定公共賃貸住宅制度の創設及び市営住宅へ入居できる子育て世帯の対象範囲等を拡充するため、条例を改正するもの）	建設経済	原案可決
議第97号	天草市手数料条例の一部を改正する条例の制定について（国の法律の施行により、建築確認制度の基準等が見直されたことに伴い手数料を見直すため、条例を改正するもの）	建設経済	原案可決
議第98号	天草市奨学金貸与条例の一部を改正する条例の制定について（奨学金貸与額等見直しを行うため、条例を改正するもの）	教育厚生	原案可決
議第99号	天草市町民センター条例の一部を改正する条例の制定について（施設の有効活用を図り住民の地域づくりの拠点等となる施設運用を行うため、条例を改正するもの）	教育厚生	原案可決
議第100号	熊本県市町村総合事務組合の共同処理する事務の変更及び規約の一部変更について（構成団体の共同処理する事務と規約を一部変更するため、議会の議決を求めるもの）	総務政策	原案可決
議第101号～104号	権利の放棄について（私債権の権利を放棄するため、議会の議決を求めるもの（普通財産の賃借料、市営住宅使用料、市立病院の診療費等、水道料金））	総務政策 建設経済 教育厚生 市民生活	原案可決
議第105号	指定管理者の指定について（天草交流センターブルーアイランド天草）	教育厚生	原案可決
議第106号	市道路線の廃止について（市道から県道への区域変更に伴い、市道を廃止するもの）	建設経済	原案可決
議第107号	令和6年度天草市一般会計補正予算（第7号）	付託省略	原案可決
議第108号～117号	令和6年度天草市一般会計補正予算（第8号） 令和6年度天草市国民健康保険特別会計補正予算（第1号） 令和6年度天草市介護保険特別会計補正予算（第1号） 令和6年度天草市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号） 令和6年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第1号） 令和6年度天草市国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第1号） 令和6年度天草市斎場事業特別会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市病院事業会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市水道事業会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市下水道事業会計補正予算（第2号）	予算決算	原案可決
議第118号	天草市議会議員に対する議員報酬及び費用弁償等に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（国の人事院勧告等及び天草市特別職報酬等審議会の答申を踏まえ、議員の報酬、市長、副市長、教育長及び病院事業管理者の給料並びに期末手当を改定するため、条例を改正するもの）	総務政策	原案可決
議第119号	天草市職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例の制定について（国の人事院勧告等を踏まえ、職員の給料表及び期末手当等を改定するため、条例を改正するもの）	総務政策	原案可決
議第120号～128号	令和6年度天草市一般会計補正予算（第9号） 令和6年度天草市国民健康保険特別会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市介護保険特別会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市浄化槽市町村整備推進事業特別会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市国民健康保険診療施設特別会計補正予算（第2号） 令和6年度天草市病院事業会計補正予算（第3号） 令和6年度天草市水道事業会計補正予算（第3号） 令和6年度天草市下水道事業会計補正予算（第3号）	予算決算	原案可決
議第129号～135号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて（森下和代氏（中村町）、松本孝子氏（有明町）、今福民夫氏（有明町）、田中純久氏（倉岳町）、稲田政喜氏（新和町）、田中茂氏（五和町）、山越小代子氏（河浦町））	付託省略	同意

令和6年度天草市一般会計補正予算（第8号） 健康ポイント事業の報償費を増額

健康運動推進事業

768万9千円

令和6年度から熊本県健康アプリ「もっと健康！げんき！アップくまもと」を導入し、気軽に楽しく健康づくりに参加できる体制を整えたことにより、参加者が増加し、規定ポイント達成者が当初の想定を上回る見込みであるため、補正を行う。



▶市ホームページで「健康ポイント事業」の詳細が確認できます。



令和6年度天草市一般会計補正予算（第8号） 棚底城跡ガイダンス施設・倉岳支所建設に係る木材を調達

棚底城跡ガイダンス施設・倉岳支所建設事業

4,400万円

施設建設に使用する天草産材は、当初予算では市場への供給量及び流通量が減少し、木材が不足するおそれがある。建設開始までに必要量を確保するため、補正を行う。

問 市が事前に木材調達を行う理由は。

答 令和7年7月頃に施設建設に係る契約を予定しているが、その後の調達では伐採時期の関係等により木材の調達が工期に間に合わないおそれがあるため、事前調達が必要である。

問 なぜヒノキを使用するのか。

答 県の木造設計アドバイザー制度を活用し、専門家を招き協議を行った結果、ヒノキはスギと比較して強度・密度・耐久性・耐水性に優れていることからヒノキを使用することとした。



▲倉岳支所の内観完成イメージ

議第129号		人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて																				賛否表							
会派名	政友会					市民クラブ			天政会		新風天草		日本共産党		公明党		無党派					表決数	結果						
議員名	平山 泰司	浜崎 昭臣	船辺 修	柴田 誠	門口 徹	松岡 寿	下田昇 一郎	五嶋 善彦	澤井 一富	浦本 力	鶴戸 継啓	小川 圭三	鯖江 達朗	中尾 友二	濱洲 大心	前田 正之	浜崎 義昭	蓑田 庸子	五通 俊作	柳田 光芳	勝木 幸生			若山 敬介	宮下幸 一郎	竹本 亨	赤城 史浩	吉田 修	
議第129号	×	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	一	○	○	○	×	○	22:3	同意

※電子表決システムによる採決により賛否が分かれたものに限ります。
※勝木幸生議員は議長職のため、表決には加わりません。



気象災害における市民のライフラインへの影響、若者支援について

赤城 史浩（無会派）



【台風10号の被害状況と対策について】

問 電線への支障木伐採等の管理は。また、その頻度と事業量は。

答 九州電力送配電株式会社天草配電事業所が1班3～4人の3班体制で土日等を除き、ほぼ毎日実施している。

問 電力会社等と市が連携や協定を締結することで、倒木による長時間停電のリスクが軽減され、市民の安全・安心につながる取組になると考えるが、市の考えは。

答 総務省が倒木による停電予防のための樹木事前伐採の推進に向け、実態を調査している。本市においても実態調査の結果や先進事例を踏まえ、事業者と連携し災害に備えたライフラインの強化に取り組んでいく。

【移住・定住を促す若者支援について】

問 若年層の資格取得に対し、市が支援しスキルアップ・キャリアアップを後押しすることで、収入のベースアップにつながると考えるが、市の考えは。

答 市内企業の若年層の就業者が不足している現状を踏まえ、若者の雇用促進と市内事業者の労働力不足を解消する取組として、キャリアアップに必要な資格取得支援は必要である。求められる資格やニーズを把握し、国や熊本県が実施している各種制度の状況を踏まえ、支援制度について検討していく。





マイナ保険証の運用に伴う課題、会計年度任用職員の処遇改善について

蓑田 庸子（日本共産党）



【マイナ保険証の運用に伴う課題について】

問 国民健康保険における6月時点からのマイナ保険証利用率の変化は。

答 9月診療分の利用は16.4%となり、6月時点と比較し5.4ポイント増加した。

問 資格確認書の有効期間は。

答 12月2日以降に発行する資格確認書の有効期間は、令和7年7月末までのものを発行する。その後、有効期限を迎える前の7月中に、有効期間が1年間の資格確認書を発送し、毎年更新する。

問 マイナ保険証の解除方法の周知は。

答 本市ホームページに掲載している。

要望 マイナ保険証への一本化は、利用率の低迷など民意を無視できない。自治体として紙の保険証発行停止は中止との要望をするべき。

【会計年度任用職員の処遇改善について】

問 会計年度任用職員が担っている業務には、一般事務のほかに何があるか。

答 保健師や栄養士等資格を要する業務の技能労務職などさまざまな職種がある。また、消費生活相談員等のように、専門的な資格や知識等を生かした職種もある。

問 福利厚生面での正規職員との違いは。

答 有給休暇などの取得可能日数や、扶養手当など支給対象とならないものがある。

問 国の3年目公募規定の制度改革を踏まえ、本市の処遇改善の計画は。

答 再度の任用回数について、国が制度改革を行った主旨や本市の任用状況等を踏まえ必要な見直しを検討する。



そこが聞きたい!! ここを聞きたい!!

12月9日から11日までの3日間で行った一般質問では、10人の議員が質問に立ちました。

10	9	8	7	6	5	4	3	2	1	番号
浜崎 義昭	澤井 一富	柳田 光芳	五通 俊作	浜崎 昭臣	門口 徹	中尾 友二	小川 圭三	赤城 史浩	蓑田 庸子	質問者
①合併浄化槽の個人設置型への移行に伴う市民の負担について ②漁業所得向上に向けた種苗生産と放流事業について	①本市の移住定住促進の取組について ②本市の子どもの未来について	①市民に寄り添った市政運営について ②教育行政について	①認知症の人に寄り添った地域社会の構築について ②医療関係者間コミュニケーションアップの活用について	①天草市のごみ処理施設について ②久玉城について	①牛深ハイヤ節について ②本渡中学校の駐輪場の強風対策について	①公共施設における空調設備の整備について ②キラシタン資料館における民間活力の推進について	①地域医療DXにおけるオンライン診療について	①気象災害における市民のライフラインへの影響について ②若者支援について	①マイナ保険証の運用に伴う課題について ②会計年度任用職員の処遇改善について	質問事項
P13	P13	P12	P12	P11	P11	P10	P10	P9	P9	ページ

本会議、常任委員会などの議員出欠状況

開催日	委 員 名	総務政策常任委員会						市民生活常任委員会						建設経済常任委員会						教育厚生常任委員会							
		委	副					委	副					委	副					委	副						
		若山	柳田	勝木	中尾	浜崎義	下田	門口	柴田	吉田	濱洲	澤井	小川	松岡	五通	前田	平山	船辺	宮下	鯖江	浦本	鶴戸	竹本	浜崎昭	五嶋	蓑田	赤城
10月15日	常任委員会（市民生活）								○	○	○	○	○														
11月12日	全員協議会	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	△
11月26日	第5回定例会 本会議 （開会、提案理由の説明）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11月29日	本会議（質疑）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 2日	常任委員会（市民生活・建設経済）								○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○							
12月 3日	常任委員会（総務政策・教育厚生）	○	△	○	○	○	○	○													○	○	○	○	○	○	○
12月 4日	常任委員会（予算決算）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 9日	本会議（一般質問1日目）	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12月10日	本会議（一般質問2日目）	○	○	△	○	○	○		○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	常任委員会（総務政策）	○	○	○	○	○	○																				
	常任委員会（予算決算）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月11日	本会議（一般質問3日目）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
12月13日	本会議（委員長報告・討論・採決、閉会）	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※勝木幸生議長は、常任委員会（予算決算）には委員外議員として出席

【議会運営委員会】

開催日	委	副					議長	副議長
	中尾	浜崎	浜崎	平山	鶴田	下田	五通	勝木
11月18日	○	○	○	○	○	○	○	○
11月26日	○	○	○	○	○	○	○	○
12月 9日	○	○	○	○	○	○	○	○
12月11日	○	○	○	○	○	○	○	○

【広報広聴委員会】

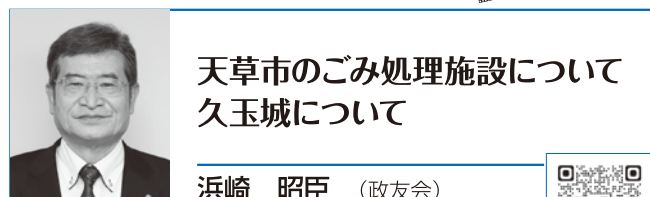
開催日	委	副					
	澤井	蓑田	濱洲	柴田	小川	柳田	吉田
10月 1日	○	△	○	○	○	○	○
10月 8日	○	○	○	○	○	○	×
11月29日	○	○	○	○	○	○	○
12月 4日	○	○	○	○	○	○	○

※勝木幸生議長と濱洲大心副議長は、委員外議員として出席。

※令和6年第4回定例会終了後から令和6年第5回定例会までの間に開催された本会議及び委員会などへの出欠状況を掲載しています。

※「○」は出席、「△」は遅参・早退等、「×

一般質問



天草市のごみ処理施設について 久玉城について

浜崎 昭臣（政友会）



【天草市のごみ処理施設について】

問 牛深クリーンセンターと牛深一般廃棄物最終処分場の今後について問う。

答 牛深クリーンセンターは、ごみ中継施設に改修し運営を継続する。また、牛深一般廃棄物最終処分場は新ごみ処理施設の供用開始後に廃止に向けた手続きを進める。

問 牛深クリーンセンターは現状のまま継続または新たに整備すべきでは。

答 ごみ焼却施設として存続、または新たに整備することは考えていない。

【久玉城について】

問 熊本県指定史跡で重要な歴史的意義を持つ久玉城跡の本格的な発掘調査をできないか。

答 相当な理由がない限り、発掘行為は制限されている。今後、国史跡追加指定に向けて必要が生じれば適切に実施する。

問 棚底城跡の次は天草市内の城跡で最初に県指定を受けた久玉城跡にすべきでは。

答 棚底城跡との強い関連性を考慮して優先順位を定めており、史跡棚底城跡保存管理計画では優先調査対象を上津浦城跡、栖本城跡とし、その後に久玉城跡を含むその他の城跡の順としている。

要望 史跡棚底城跡保存管理計画と別に久玉城跡の調査を県へ依頼してもらいたい。また、南の玄関口牛深が埋没しないためにも、地域振興、観光振興の面からも久玉城復活が大変重要であるため市長にも強く要望する。



▲久玉城跡の石垣



牛深ハイヤ節について 本渡中学校の駐輪場の強風対策について

門口 徹（政友会）



【牛深ハイヤ節について】

問 熊本県指定重要無形民俗文化財の指定要件は。

答 熊本県文化財保護条例では、「県民にとって重要なものを指定することができる」とあり、県指定の基準を満たす価値を有することを証明する必要がある。

問 牛深ハイヤ節が、県指定重要無形民俗文化財へ指定される可能性はあるのか。

答 牛深ハイヤ節が、全国ハイヤ系民謡の源流として人々の生活に与えた影響は大きく、その重要性が認められれば十分に指定の可能性はある。

要望 一刻も早く、県指定重要無形民俗文化財の指定に向け、取り組んでいただくことを要望する。

【本渡中学校の駐輪場の強風対策について】

問 強風により駐輪場の自転車が倒れているという現状の把握とこれまでの対策は。

答 生徒や保護者からの学校への被害相談や教育委員会への連絡はないが、強風で自転車が倒れる等の事実は把握している。

これまでに自転車止めを設置し検証したが、課題があり運用に至っていない。

問 今後の強風対策の対応は。

答 学校と協議を行い、新たな防風フェンスの設置など自転車転倒対策への必要な整備を進めていく。

要望 早い段階で対応いただくことを強く要望する。



▲強風で転倒した自転車



公共施設における空調設備の整備、キリシタン資料館における民間活力の推進について

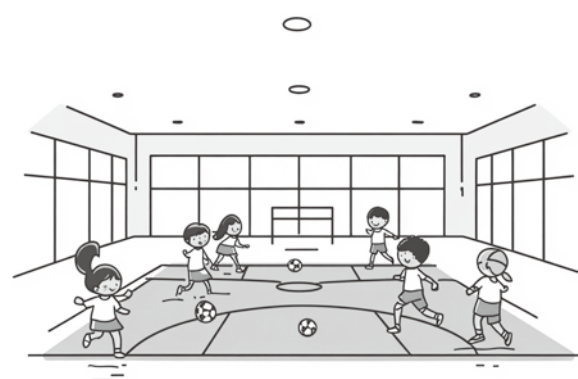
中尾 友二（新風天草）



【公共施設の空調設備にかかる地域タイムラグ解消について】

問 整備にあたり地域差の解消は。また、施設の長寿命化に対する考えは。

答 市民の皆様の安心・安全な生活を守るためにも空調設備の整備のみならず、必要な施設の修繕や改修・解体等については地域ごとに優先順位を設定し、計画的に取り組んでいくことが必要であると考えている。引き続き、各施設の所管課との連携を図りながら、天草市公共施設等総合管理計画などに沿った運営と必要な計画の見直しを行いながら長寿命化を図るためにも必要となる整備をしっかりと進めていく。



【キリシタン資料館における民間活力の推進の方向性について】

問 資料館運営において、資料管理は行政が担い、情報発信や集客・企画運営は民間活力を導入する考えは。

答 資料管理は行政が担い、民間活力の導入に関する今後の方向性については、さまざまな事例などを検討している。企画運営は民間が行う方法など、本市資料館の現状や課題等を十分に踏まえ、よりよい効果やメリットが生み出せる仕組みの運営方法を見いだしたい。キリシタン資料館運営委員会の意見も聞き、今年度末までには今後の方向性を決定したいと考えている。



地域医療DXにおけるオンライン診療について

小川 圭三（天政会）



【オンライン診療の導入について】

問 高齢者の免許返納や公共交通機関の減便・路線廃止などにより病院への受診が簡単にできなくなり、不便を感じている市民が多くなった。そうした課題解決のため、河浦病院では「医療DX基本計画」を策定し進めているが、その理由は。

答 今後も超高齢化が進む中、独居や高齢者のみの世帯の増加が予想され、通院できなくなった患者に寄り添ったオンライン診療や訪問診療など「出かける医療」の提供を行うことを目的に策定した。

問 河浦・天草地域にアンケート調査を実施しているが、その経緯と結果は。

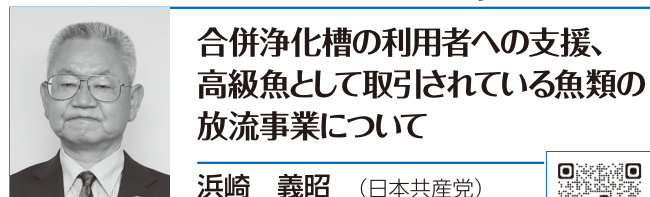
答 地域課題や住民ニーズを把握するため2,248世帯を対象に実施した。オンライン診療には、病院までの距離が遠く、路線バスなどの公共交通機関がない方や便数が少ない地域の方が興味を持たれ、「利用したい」と回答されている。

問 先進地の小国公立病院を視察し、実際の診療現場で流れを見学した。本市としてどういった診療を目指すのか、今後の取組は。

答 本市のオンライン診療は、看護師が出向き患者のサポートを行いながら病院にいる医師が診察するもので、場所は診療車や自宅、集会所など地域に合うものを検討する。また、この診療は試行的段階で診療報酬も十分ではないが、医療提供のセーフティネットを構築するのにも公立病院の使命であると考えている。



▲オンライン診療車（小国公立病院）



合併浄化槽の利用者への支援、高級魚として取引されている魚類の放流事業について

浜崎 義昭（日本共産党）



【合併浄化槽の利用者への支援について】

問 市設置型から個人設置型への移行に伴う対象者への説明は。

答 倉岳・新和・天草の3地区で個別相談会を開催し、移行の経緯や負担額の比較等について説明した。相談会では負担が増えることへの心配等の意見をいただいた。今後も自宅訪問等を実施し、根気強く説明を行っていく。

問 下水道事業と同様に浄化槽事業にも予算を使うべき。

答 合併浄化槽に対する維持管理の補助制度に加え、設置している浄化槽が現在の居住者数と合わないなど、老朽化により更新するための補助制度も含め、県内自治体と連携し国や県へ要望していく。

【高級魚として取引されている魚類の放流事業について】

問 比較的高値で取引されているハタ類は、牛深の漁業者にとって収益性の高い魚種の一つで、放流対象魚として要望の声が高い魚種となっている。

近年、牛深海域では漁獲形態により資源の減少が懸念されるハタ類の種苗生産と放流事業は可能か。

答 種苗生産は技術的に可能と考えられるため、ハタ類の種苗生産・放流事業について、熊本県栽培漁業基本計画の見直しの際に関係者と連携して県に要望していく。



▲ハタ類（クエ、アラ）



本市の移住定住促進の取組、子どもの未来について

澤井 一富（市民クラブ）



【移住定住促進について】

問 本市独自の空き家相談会を実施できないか。

答 6月に無料相談会を実施した。相続等の専門家である司法書士や宅地建物取引士が11組の相談を受け、好評であった。今後も定期的に開催したいと考えている。

問 お試し移住の住宅が下浦町にあるが、各地域へ拡充の考えは。

答 移住促進施設は下浦町に6棟あり稼働率も上がってきている。また、希望日に利用できない場合は、移住者が経営している民宿等を案内している。今後は、民間施設を活用するための支援なども検討を行い、各地域での移住体験の機会創出を図る。

【子ども食堂について】

問 子ども食堂に対する将来の展望は。

答 子ども食堂はNPO法人等により開設・運営されている。本市では、開設後3年以内の団体を対象に開催日数に応じ、上限20万円の運営費等を助成するなど新規開設を支援している。開設に向けた相談もあっている状況で、小さな規模でも子どもや子育て家庭を支える環境が醸成されることを期待する。

要望 子ども食堂では資金面や開設場所の問題など課題がある。運営に希望が持てる環境になるようきめ細かな支援を望む。



市民に寄り添った市政運営、教育行政について

柳田 光芳（公明党）



【市民に寄り添った市政運営について】

問 市民との意見交換会や市長への意見箱・市長メールなどに寄せられた意見をどのように施策に反映したか。

答 子育て支援策の拡充として3歳未満児の保育料無償化事業や入学等祝金支給事業の創設、支所機能の強化として市道維持補修事業等の予算を1.5倍に増額した。

問 地場産業・地元企業の意見を吸い上げるために企業版意見箱を設置する考えは。

答 業界団体の総意に耳を傾けることが重要であるため、できる限り団体からの意見を直接伺う場を大切にしたい。

【教育行政について】

問 GIGAスクール端末の更新に伴う再資源化、個人情報漏えい対策は。

答 関係する部署と連携を密にし、法令を遵守した適切な対応を進めていく。

問 複合施設こころすや天草国際交流会館ポルトにおいて「学習スペースが足りない」との声があるが、現状は。

答 こころすには1階に新たに席を設けるなど1階48席、2階112席を配置。ポルトには1階12席、2階には無料で利用できるコワーキングスペースを含めて30席を配置している。



▲複合施設こころすの学習もできる共用スペース

問 県では、家庭教育支援条例を制定しているが、本市の条例制定の考えは。

答 県のくまもと家庭教育支援条例に基づき、県と連携・協力しながら今後も家庭教育支援を推進する。



認知症の人に寄り添った地域社会の構築、医療関係者間コミュニケーションアプリの活用について

五通 俊作（公明党）



【認知症の人に寄り添った地域社会の構築について】

問 地域における認知症当事者同士による支援活動環境の整備について本市の考えは。

答 認知症当事者のみの集まりの場はないため、今後、熊本県と連携を図りながら、設置に向け検討を進める。

問 今後、さらに増加することが懸念される認知症行方不明者の生命を守る取組を推進すべきと考えるが、本市の考えは。

答 認知症当事者や家族の困りごと解消のための情報収集・提供方法について検討していく。また、高齢者の安全を守る対策として、認知症サポーターの養成並びに人と人のつながりによる地域支援体制の強化に取り組む。



【医療関係者間コミュニケーションアプリ^(※)の活用について】

問 市民病院へのアプリ導入の考えは。

答 当該アプリは、熊本県の協議会にて県内統一の機器を選定する協議を進めている。導入については、関係機関からの情報を得ながら救急医療の現場に従事する医師、看護師等とともに協議していきたい。

(※)医療関係者間コミュニケーションアプリ…医療関係者や救急隊が高セキュリティ環境下でコミュニケーションをとることができるアプリ。患者の容体を画像やチャットを利用して共有することで、救急搬送時や患者の転院時の連携・情報共有などに利用される。

建設経済委員会（令和6年11月6日～8日）

五通俊作・前田正之・平山泰司・船辺修・
宮下幸一郎・鯖江達朗・浦本力

■視察先・視察内容

- ・三重県津市
榊原温泉湯の瀬のリニューアルについて
- ・三重県桑名市
公民連携「コラボ・ラボ桑名」について



視察報告

津市では、榊原温泉「湯の瀬」が老朽化や維持管理費の増加などにより、施設運営を根本的に見直す必要があると判断し、官民連携制度を導入して令和4年8月に施設をリニューアルオープンされていました。

桑名市では、公民連携事業として民間提案窓口「コラボ・ラボ桑名」を開設。市役所駐車場を民間事業者へ貸し出し、年間250万円の赤字から120万円の黒字に転換されておりました。また、赤字のため休館していた情報交流施設についても

民間による飲食事業を開始したことで、維持管理費が不要となるなど成果を上げておられました。

視察を終えて

両市とも民間のアイデアやノウハウを活用した先進的な取組事例や成功事例であり、今後、本市において効率的かつ効果的な施設整備や施設管理等を検討する上で、大変参考となる方策等であり、今回の視察の成果を今後の議会活動及び市政発展に生かしていきたいと思います。

総務政策委員会（令和6年10月16日～18日）

若山敬介・柳田光芳・勝木幸生・中尾友二・
浜崎義昭・下田昇一郎・門口徹

■視察先・視察内容

- ・石川県金沢市
金沢文化スポーツコミッションについて
- ・石川県小松市
小松市地域公共交通事業について



視察報告

金沢市では、同市の強みである文化とスポーツを融合させたスポーツコミッションを設立し、大会の誘致、民間企業・学生等の合宿誘致に文化体験等を交えることで、交流人口増につなげておられました。

小松市では、高齢者や学生等を対象に「らく賃パスポート」を導入し、路線バス利用促進を図っておられました。また、北陸新幹線開通を契機として、「小松市ライドシェア」の運行を開始し、タクシー不足解消に取り組まれていました。

視察を終えて

スポーツコミッションの取組においては、本市の特色を生かした取組を新たに創出しながら、大会誘致、合宿誘致による関係人口の増加を図っていく必要があると考えます。

また、地域公共交通においては、路線バス利用促進の取組やさまざまな形でのライドシェアを検討していく必要があると考えます。

今回の視察を踏まえ、今後の地域課題の解決につなげたいと思います。

教育厚生委員会（令和6年10月23日～25日）

鶴戸継啓・竹本亨・浜崎昭臣・五嶋善彦・
蓑田庸子・赤城史浩

■視察先・視察内容

- ・兵庫県芦屋市
重層的支援体制整備事業について
- ・大阪府大東市
家庭教育支援事業について



視察報告

芦屋市では、包括的な相談支援と地域づくりに向けた支援に、社会とのつながりをつくるための支援を行う「参加支援」、複雑化・複合化した事例に対応するための「多機関協働」、寄り添う支援を行う「アウトリーチ支援」の概念を追加し推進を図っておられました。

大東市では「子育てするなら、大都市よりも大東市」のブランドメッセージを掲げ、子育て支援や教育施策の充実を図っておられました。平成28年に家庭教育支援チームを立ち上げ、「家庭教育は全ての教育の出発点」を合言葉に活動されてお

り、令和5年度には「家庭教育支援チーム」の活動推進に係る文部科学大臣表彰を受賞されています。

視察を終えて

両市とも、市民のニーズを的確に把握し、それぞれの実情に応じた施策を実施された先進的な取組事例であり、今後の支援策を検討する上で大変参考となるものでした。

今回研修した内容は本市における課題と密接なものであり、今後の議会活動に生かしていきたいと思います。

市民生活委員会（令和6年10月23日～25日）

柴田誠・吉田修・濱洲大心・澤井一富・
小川圭三・松岡寿

■視察先・視察内容

- ・岩手県宮古市
広域合併したまちの脱炭素地域づくりについて
震災における水道事業の復興対応について
- ・岩手県陸前高田市
陸前高田しみんエネルギー㈱の設立と運営について



視察報告

宮古市は、東日本大震災でライフラインが長期間影響を受けた経験を教訓に地域新電力会社を設立。再エネ事業の利益を公共交通や子育てなどの公共市民サービスに活用し、地域課題を解決する仕組みを構築しておられました。また、津波による浸水で被災した水道など、水道設備の復旧についても説明を受けました。

陸前高田市は、令和元年に地域電力会社の陸前高田しみんエネルギー(株)を設立し、再生可能エネルギーの活用による災害時の電力確保やエネルギーの地域内循環を図っておられました。

視察を終えて

両市の脱炭素社会の実現に向けた官民連携による持続可能な循環型社会を形成する取組は、省エネルギーの推進や地域の特性を生かした再生可能エネルギーの導入など、地域環境に配慮したエネルギーの適正利用による脱炭素社会を目指す上で大変参考となる事例でありました。

また、震災における水道事業の復興対応は、災害発生後の官民連携の対応、被害を最小限化するため未然の水道設備・施設整備の必要性を感じました。

所管事務の調査

令和6年10月15日・12月2日

市民生活委員会

(柴田誠・吉田修・濱洲大心・澤井一富・小川圭三・松岡寿)

市民生活委員会では、一般廃棄物処理施設などの現状を把握し、今後の議案審査等に生かすため、現地調査を実施しています。開設から約30年が経過し、修繕や改修等が発生している以下の4施設について、処理能力、稼働状況、管理状況等を確認しました。

現地調査先

- ・御所浦クリーンセンター
- ・西天草クリーンセンター
- ・御所浦火葬場
- ・天草火葬場



▲御所浦クリーンセンターの整理された資源物等

調査を終えて

各施設は老朽化による突発的な故障や不具合で修繕が行われていますが、定期点検等による計画的な補修を実施し、安定稼働に向けた管理・運営に努めておられました。

当委員会では、市民生活に支障が生じないように、今後も施設の状況把握や動向を注視し、議案審査等に生かしていきます。

次期(3月)定例会会期日程(予定)

日	月	火	水	木	金	土
2/23 天皇誕生日	24 振替休日	25 本会議 (開会、提案理由の説明)	26 休会	27 休会	28 本会議 (質疑)	3/1 休会
2 休会	3 市民生活委員会 建設経済委員会	4 総務政策委員会 教育厚生委員会	5 予算決算委員会 (補正予算審査)	6 休会	7 休会	8 休会
9 休会	10 予算決算委員会 (当初予算審査)	11 予算決算委員会 (当初予算審査)	12 予算決算委員会 (当初予算審査)	13 予算決算委員会 (当初予算審査)	14 休会	15 休会
16 休会	17 本会議 (一般質問)	18 本会議 (一般質問)	19 本会議 (一般質問)	20 休会 春分の日	21 本会議 (委員長報告・討論・採決、閉会)	22 休会

※予定は変更になる場合があります。

市議会を見る・聞く

◎インターネットで中継しています!

本会議の様様をインターネットで生中継・録画配信をしています。また、ケーブルテレビでも中継を行っています。



▲市議会中継

◎本会議や委員会の傍聴ができます!

本会議や委員会は天草市役所3階の議場や委員会室で傍聴できます。詳しくは議会事務局にお尋ねください。



※会議は通常午前10時に開会します。



濱洲大心



副委員長
養田庸子



委員長
澤井一富



吉田 修



柳田光芳



小川圭三



柴田 誠

今年一年が穏やかで皆様にとって良い年でありますように。(濱洲大心)

「奪い合えば足らず分け合えば余る」和みの心を持って日々を過ごしたいものです。

また、地球沸騰化による世界各地の異常気象、ロシアとウクライナの紛争、中東での紛争など、日本にとって原油の輸入問題や北方領土の問題と、他人事ではありません。

「奪い合えば足らず分け合えば余る」和みの心を持って日々を過ごしたいものです。

昨年、元日に能登半島地震が発生し、猛暑が続くなど、自然の脅威に見舞われました。また、秋には衆議院の解散総選挙で石破内閣が誕生しました。政治と金の問題。何を思い国會議員になったのか、今一度自問していた

皆様、新年はいかがお過ごしだったでしょうか。

編集後記